

台湾プロモーション



南房総観光連盟

南房総観光連盟は、安房3市1町（鴨川市・南房総市・鋸南町・館山市）の行政及び観光協会等で構成され、安房地域の観光振興を推進する団体

南房総観光連盟

平成29年度から南房総サイクルツーリズム協会等と連携し、サイクルツーリズム事業を展開。

「平成29年度」

- ・サイクリスト実態調査
- ・先進地視察（しまなみ海道）
- ・タンDEM自転車公道走行制限解除要望書提出
- ・サイクリング道路環境整備要望書提出

「平成30年度」

- ・サイクリスト実態調査
- ・先進地視察（霞ヶ浦りんりんロード）
- ・ガイドブック作成
- ・台湾プロモーション

「令和元年度」

- ・WEBページ作成（多言語含）
- ・台湾サイクルツアー受入



＜台湾プロモーション実施経緯＞

台湾の自転車関係者から「南房総は台湾ではほとんど知られていない。台湾でのサイクリングイベントに参加すれば、宣伝効果も計り知れない。サポートカー等全面協力するので参加してみてもどうか」との提案を受け、南房総観光連盟として自分（川名）、南房総サイクルツーリズム協会の瀬戸川さん、今回の主催者であるウェルネススポーツ鴨川の岡野さん達とサイクリングイベントへの参加と旅行会社やメディアへのセールスを実施。

（平成31年1月11日～15日）

縦貫台湾520K

1日かけて台湾の北の灯台から南の灯台まで約520kmを走るサイクリングイベント
約100kmごとに関門が設定。

第1関門 (99.9km地点)	13:00
第2関門 (197.4km地点)	20:00
第3関門 (299.9km地点)	2:30
第4関門 (390.0km地点)	8:30
ゴール	17:00



主催：臺北市自由車協峽會 (Taipei Cycling Association)

参加資格：200キロ以上走ったことのあるサイクリスト。

参加者数：238名、完走者数：187名 (35時間以内) うち105名が24時間以内に完走

スタートセレモニーでのPR



スタートセレモニーで南房総のPR。夜明け前のスタート。

トラブル多発



スタート直後、メンバーがパンク。集団は先に行ってしまい、残ったのは自分達だけ。パンク修理も普段なら自分で問題なく直せるのだが、不安と焦りからうまくいかない。その後、他メンバーもパンクや落車などトラブル多発。前途多難のスタート。

快調にライド



その後、快調に飛ばす。途中、地元台湾のサイクリストが帯同するなどのおもてなしを受ける。

夜間走行



夜中のライド。サポートカーのライトで前を照らしてもらおう。疲れが出始める。

疲労ピーク



疲労もピーク。睡魔に襲われる川名、ハイテンションの瀬戸川さん、アイスを食べながらマッサージを受け、目がいっちゃってる岡野さん

フィニッシュ



33時間かけて、何とかゴール！ ゴール後、台湾メディアの取材を受ける。

セールスコール

サイクリングなど主にスポーツツアーを企画する旅行会社やメディア（8社）を訪問



サイクリングイベント前日及び、翌日に休む間もなく、セールスコール。
台北自転車協会、創造旅行社、東南旅行社、ジャイアント旅行社、太平洋旅行社、隆祥旅行社、和田旅行社、運動筆記（自転車筆記）、楽晴単車遊、ラフクラブハウス台北、ジャイアントショップ

台湾B. B. BASEサイクリングツアー



台風被害により実施が危ぶまれたが、復興応援ツアーとして実施



台湾プロモーションを実施した結果、B.B.BASE貸切サイクリングツアーに繋がる。

台風15号（令和元年9月5日発生）の被害により実施が危ぶまれたが、復興応援ツアーとして実施。

台湾からの参加者（97名）は、「頑張れ千葉」などのプラカードを掲げながら、館山駅のホームに降りた。参加者から募った支援金は各市町に渡された。

【行程】令和元年9月29日～10月3日

1日目 成田空港着 成田泊

2日目 成田駅→(B.B.BASE)→館山駅 サイクリング 館山泊

3日目 朝：サイクリング→バス観光（南房総エリア） 鴨川泊

4日目 バス観光（南房総エリア） 鴨川泊

5日目 鴨川→(バス)→成田空港発

大鷹旅遊「国のブランド玉山賞」受賞



要点翻訳

- ◆テーマ：大鷹旅遊の鉄道観光は海外へ
2020年は「現実新幹線」ツアー等を進行予定
- ◆大鷹旅遊は、ブランド化に成功し、3年連続表彰。
2017年は「金質賞」、2018年は「金峰賞」、2019年11月には「国のブランド玉山賞」を受賞。
- ◆写真：2019年11月、大鷹旅遊の王副社長が、台湾の副総統から「国のブランド玉山賞」を受賞している様子。
- ◆内容（抜粋）：大鷹旅遊は、台湾の団体向け鉄道ツアー専門の旅行会社。現在まで206回のツアーを開催しており、のべ26,000人が参加。お客様満足度は98%。大鷹28周年記念ツアー：日本最大の鉄道会社、JR東日本の「B.B.BASE」貸切ツアーを開催。100名の会員を連れ、日本千葉県5日間の観光及び自転車ツアーを進行。9月の台風被害で千葉県の観光客が激減したが、大鷹旅遊は「B.B.BASE」貸切ツアーの進行をキャンセルせずに、「復興応援ツアー」として出発し、「支援金」を4市町に寄付。4市町や各施設はこのような行動に感動し、勇気をもらった。これで大鷹旅遊は、千葉県と友好関係を築いた。

大鷹旅遊は、B.B.BASE貸切サイクリングツアーなどが評価され、台湾「国のブランド玉山賞」を受賞。

令和2年（2020年）もいくつかの旅行会社やメディア等がサイクリングツアーを予定し、これからという時に新型コロナウイルス感染症拡大により中止。

コロナ禍における対応

◆予定していた台湾からのサイクリングツアーが中止

何をしたか？



- 台湾サイクリスト向けFBでの情報発信
- 在日台湾人サイクリストへのPR



コロナ禍で、ツアーが中止となる中で、これまでに関係を築いた台湾関係者と連絡を取り合い、情報交換をするとともに、台湾の日本での自転車旅行のFBグループに情報発信。そこで繋がった在日台湾人の方たちと一緒に南房総エリアをライド。

今後もコロナ収束後、すぐに南房総に来てもらえるよう、これまで築き上げた台湾関係者との「つながり」を大切に、情報発信に努めていく。